

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・第71回厚真町成人式
- ・スケート教室開催
- ・スピードスケート記録会
- ・スケートリンク利用案内
- ・12月定例教育委員会報告
- ・就学援助についてのお知らせ
- ・厚真町育英資金貸付のご案内
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

祝 第71回厚真町成人式

第71回厚真町成人式が、1月13日に総合福祉センターで開催されました。今年は平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方37人が対象で、26人が出席し、社会人としての第一歩を歩み出しました。

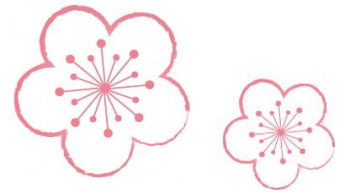
式辞では、遠藤秀明教育長が「故郷とそこに住む人々を思い寄り添う心を忘れず成長を続けてください」と激励しました。

このあと、誓いのことばを苅屋美紅さん(本町)、交通安全宣言を奥井峻太さん(上厚真)が行い、宮坂尚市朗町長から成人者に厚真町からの記念品が手渡されました。

式典のしめくりには、成人を代表して浅野輝さん(豊沢)による答辞が述べられ、会場から大きな拍手が送られました。

式典終了後のアトラクションでは、成人者が中学生時代の写真や恩師、震災ボランティアなどからのメッセージを織り交ぜた動画が披露され、新成人者へエールが送られました。

(成人式の様子については、中面でもご紹介していますのでご覧ください。)



冬休みスケート教室開催

1月8日から15日にかけて、小学生対象のスケート教室が町民スケートリンクを会場に開催され、総勢177人の児童が参加しました。

この教室では、2月に開催される「スケート記録会」に向けて、足の蹴り方や、手の振り方などの基本練習が中心に行われました。

寒空の下、児童は講師の先生に教わりながら、元気いっぱい練習に励んでいました。

厚真町
スピードスケート記録会

次のとおり「第39回厚真町スピードスケート記録会」を開催します。

参加する児童生徒への大きな声援をお願いします。

- ◆日時 2月2日【土】
開会式 午前9時00分
競技開始 午前9時30分
- ◆ところ 町民スケートリンク(新町)
- ◆問合せ 教育委員会社会教育グループ
Tel27-2495

スケートリンク
ご利用ください!

町民スケートリンクの利用は次のとおりとなっています。

皆様のご利用をお待ちしています。

- ◆利用期間 2月28日【木】まで
- ◆利用時間 午前9時から午後8時まで
(天候や気温等により変更あり)
- ◆問合せ 教育委員会社会教育グループ
Tel27-3775(スポーツセンター)

就学援助(新入学用品費等)についてのお知らせ

教育委員会では、お子様の小学校・中学校就学にあたり、経済的に困りの世帯に対して、新入学用品及び学用品の購入に必要な経費の援助を本年度から入学前に行います。

- 対象となる世帯 次の要件にすべて該当する世帯
 - ①お子様が平成31年4月に厚真町内の小学校又は中学校に入学予定の世帯
 - ②申請時に厚真町に住民票のある世帯
 - ③経済的に困りの世帯
 ※新入学用品等の扶助を受けた後、町内の小・中学校に入学しなくなった場合や、前年(平成30年)の収入が決定した段階で基準を満たさない場合は、返還手続きが必要になります。
- 援助額

1. 小学生	
(予定) 新入学用品費	40,600円
学用品費	11,420円
2. 中学生	
新入学用品費	47,400円
学用品費	22,320円
- 援助時期等 平成31年3月中旬
(保護者の口座に振込みします)
- 申込期限 平成31年2月8日(金)
- 必要書類
 - ①準要保護児童生徒認定申請書(教育委員会にあります)
 - ②世帯全員の、平成29年1月から12月までの収入を証明する書類
 - ③印章
 - ④振込先の口座がわかる通帳等
- その他 入学前に申請をしない場合でも、新年度に入り学校へ申請し認定となった場合は、7月に同額の入学用品等を援助します
- 問合せ 学校教育グループ
☎27-2494

厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所をお持ちの方の子弟で、大学等に進学された方に学資金の貸付を行っています。

●貸付対象者

- (1) 短期大学、大学、大学院(防衛大学校等を除く)
- (2) 高等専門学校(第4・5学年及び専攻科)
- (3) 専修学校専門課程(2年以上4年以内)
- (4) 国外において(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記(1)～(4)の新規入学者か在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。

●選考基準

学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。

●貸付月額

月額6万円以内で1万円単位に希望する額

●利息 無利子

※育英資金貸付のほか、近藤奨学金、中村奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金があり、これらの奨学金は育英資金の貸付決定者から選考し、給付されます。

●貸付方法

希望される金融機関の口座(保護者等)へ毎月上旬にお振込いたします。

- ・通常貸付: 初回貸付は7月中旬(4～7月分)
- ・早期貸付: 初回貸付は6月中旬(4～6月分)

※早期貸付の場合、前年(平成29年)の総所得金額が決定した段階で基準を満たさなくなった場合は、返還手続きが必要になります。

●返済方法

卒業後、6カ月の据置期間の後、借用期間の3倍以内の期間で返済していただきます。

●提出書類

- ①申請書(教育委員会にあります)
- ②在学証明書
- ③成績証明書(最後に在学していた学校の証明書)
- ④健康診断書(入学後、学校で受けた結果の写し)
- ⑤課税資料閲覧承諾書(申請書に添付します)

●申込期限

平成31年5月31日(金)まで
(ただし、早期貸付(6月)を希望される場合は5月1日(水)までに申請してください。)

●申込先 学校教育グループ

☎27-2494

12月定例教育委員会報告

12月27日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

第6回町議会臨時会、第4回町議会定例会、中央地区・厚南地区学校運営協議会、教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会、厚真町教育支援委員会、親子deくつろぎ森ガール、スポーツセンター避難所閉鎖、ふらっとおでかけ、ちょ

っとひと息「みんなのひろば」(ほか9件)

◆議案

厚真町教育委員会事務局職員の人事について(ほか1件)

◆協議

平成31年度教育費予算要求内容について

◆その他

厚真町スポーツセンター・あつまスタードーム一般利用全面再開(2件)

★問合せ 学校教育グループ ☎27-2494

故郷への誓い 未来へつなぐ

—第71回厚真町成人式—



交通安全宣言 奥井峻太さん(上厚真)



答 辞 浅野 輝さん(豊沢)



誓いの言葉 苺屋美紅さん(本町)



記念品授与 目黒ひよりさん(豊丘)

答 辞

本日、私たちは成人式という人生の節目、そして大人としての門出を迎えることができました。これまで温かく支えてくださった家族をはじめ、共に高めあってきた友人、日々ご指導していただいた恩師や地域の方々、これまで私たちに関わってくださった全ての方々に心より感謝いたします。

また、お祝いと激励の言葉をいただきました、宮坂町長をはじめとするご来賓の方々、ご出席いただいた皆様に感謝申し上げます。

私はいつもの変わらぬ日常を過ごしながらこの成人式を迎えられると考えていました。しかし、9月6日に発生した北海道胆振東部地震によって状況は一変しました。私は地震発生時、フェリーに乗船しており、テレビ画面越しに見る変わり果てた故郷の姿を上手く受け入れることができませんでした。これまで、災害とはどこか遠くで起きることで、自分の生活には影響しない、そんな甘い考えがあったからだと思います。突然ふりかかってきた現実はあまりにも過酷で残酷なものでした。厚真町で日々を過ごす中で、また、知人が亡くなったことを伝えるニュースに接することで、この地震の厳しさを改めて感じました。亡くなられた方が歩むはずだった時間に思いをはせると、私たちが今こうして生きているということに改めて感謝の思いを抱きます。全国の方々からのご支援をいただき、厚真町は徐々に復興への道を歩み始めました。

かつての姿を取り戻しつつある厚真町で日々を過ごしていると、震災発生時のつらさや、今でもつらい生活をしている方がいることをふと忘れてしまう自分がいます。地震を経験していながらも記憶が風化し、そして、避けることのできない現実から目をそらしてしまっている自分が非常に怖かったです。私たちは地震でのつらい記憶や、今もかつての生活を取り戻すことができずにいる方がいることを決して忘れてはいけません。そして、厚真町が復興へと歩みを進めていくこれからの経験をもとに、災害によってつらい思いをする人が減ることを願い、震災の記憶を未来へとつないでいこうと思います。

私たちがここに集い、笑顔で成人式を迎えることができたのは家族、友人、恩師、地域の方々のおかげです。この感謝の気持ち、生まれ育った厚真町での経験、成人としての決意を胸に刻み、これからの人生を堂々と歩いていくことを誓い、答辞といたします。

平成31年1月13日
新成人代表 浅野 輝



図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

祝 第14回えほん大賞絵本部門 大賞受賞

プップクプードル やまだなおと さく・え

元厚真町民で、現在は札幌でイラストのお仕事をしている、やまだなおとさんの絵本「プップクプードル」がえほん大賞絵本部門の大賞を受賞されました。受賞作品の絵本は大変にぎやかで元気が出るお話です。図書室にも寄贈をいただきましたので、ぜひお手に取ってご覧ください。

福を招くよ 招き猫

2月22日 猫の日にちなみ、図書室のカウンターに招き猫を置きます。伝統的な招き猫のほかに、現代風のキュートな招き猫も並べますので、青少年センターにお立ち寄りの際は会いに来てください。



第160回芥川賞・直木賞 決定

1月16日、第160回(平成30年下半年期)の受賞作が決定いたしました。

芥川龍之介賞(未単行本)

「ニムロッド」上田岳弘/著

「1R1分34秒」町屋良平/著

直木三十五賞

「宝島」真藤順丈/著 講談社刊

青少年センターからのお知らせ ~2月の予定~

★プラネタリウム★

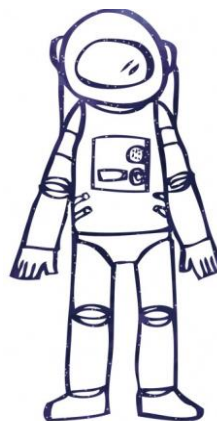
●投影日時

- ・毎週火曜日 午後3時30分~
- ・毎週土曜日 午後1時30分~

※グループ、団体などご利用をご希望の際は、事前にお問い合わせください。

●投影内容

- 1 冬の星座解説
- 2 4次元で見る宇宙の広がり



お問合せ先：教育委員会社会教育グループ

☎ 27-2495



新着図書紹介



ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

文芸書

- ・弁当屋さんのおもてなし 喜多みどり / 著
- ・海近旅館 柏井 壽 / 著
- ・光まで5分 桜木紫乃 / 著
- ・ばけばけ 那須正幹 / 著
- ・ゆえに、警官は見護（みつめ）る 日 明恩 / 著
- ・キンモクセイ 今野 敏 / 著
- ・花折 花村萬月 / 著
- ・それでも空は青い 荻原 浩 / 著
- ・おしゃべりの思想（大活字） 外山滋比古 / 著

児童書

- ・風と行く者 守り人外伝 上橋菜穂子 / 作
- ・保存食の大研究
- ・アイヌ文化の大研究
- ・おとのさま、ほいくしさんになる
- ・めざせ、和牛日本一！
- ・受取人、不在につき 赤川次郎 / 著
- ・野菜をまもれ！テントウムシ大作戦
- ・山の子テンちゃん

実用書

- ・幾何学模様の美しいヒンメリ
- ・カミキの季節のおりがみ
- ・絶対に出る世界の幽霊屋敷
- ・テンプレート式脱出ゲームの作り方
- ・子どもと食べたい作りおきおかず
- ・ちょっと不調を感じたときのスープとドリンク
- ・一冊でまるわかり戦略的「地域創生」入門
- ・凡人のための地域再生入門
- ・奇跡の本屋をつくりたい 久住邦晴 / 著

絵本

- ・きょうふのおばけパンツ
- ・ほしじいたけほしいばあたち
～いざ、せんになやまへ～
- ・おにいちゃんさんかんび くすのきしげのり / 作
- ・うさぎでうれしい さこももみ / 作
- ・どうぶつマンションによろこそ 二宮由紀子 / 作
- ・あいうえおりょうりめしあがれ
- ・わるものパパのだいだいだーいファン 板橋雅弘 / 作
- ・ぬかどこすけ かとうまふみ / さく



～図書室からのお知らせ～



■2月の休館日

11日（月） 建国記念の日

■青少年センター図書室開館時間

午前9時～午後5時（月・水・金・土・日）

午前9時～午後7時（火・木）

■厚南会館図書室

午前9時～午後5時（月～日）

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

■2月の移動図書

・上厚真小学校

1、8、15、22日（金）

午前10時10分～10時25分

・ともいき荘

15日（金） 午後2時00分～2時30分

■おはなしのびっ子

場所：青少年センター 絵本コーナー

28日（木） 午前10時30分～11時

☆放課後子ども教室☆

新しい年の幕が上がり、学年の集大成である3学期が始まりました。数えてみると今年度の放課後子ども教室の活動も各活動日8~9回ほどを残すばかりとなりました。6年生の卒業も見えてくるこれからの3か月、その時、その時を大切に過ごしたいと思います。

冬休み期間中、通常教室（平日の活動）はお休みでしたが、昨年12月22日（土）に冬休み特別教室【冬のモノづくりデイキャンプ～お楽しみ雪遊び&ドリームキャッチャーをつくらう～】を実施しました。前の週の暖気で解けてしまったこともあり、積雪がほとんどない状態でしたが、午前中は外に出てめいっぱい体を動かして遊びました。うっすらと残った雪の斜面で尻すべりをしたり、ココアを雪で冷やし固めてアイスをつくったり、立木をターゲットに雪玉当てをして遊んだり、子どもも大人も知恵を出し合って、少ない雪でも楽しく遊ぶ方法がたくさん生み出されました。自分たちで考えて、その考えを実際にやってみる・形にするという繰り返しが遊びの自由さを広げていくのだなと感じました。たくさん動いたあとに食べるアイスもとてもおいしかったです。

お昼ご飯をはさみ、午後からはものづくりの時間。今回は『ドリームキャッチャー』をつくりました。ドリームキャッチャーとは、ネイティブアメリカンの魔よけのお守りで、クモの巣状に張った網目が悪い夢をすくい取り、良い夢だけを持ち主に届けてくれるといわれています。土台となる輪っかに自分で選んだ好きな毛糸を巻きつけ、糸を張っていく作業が難しく、悪戦苦闘している子の姿もありましたが、スタッフの手も借りながら素敵な作品が出来上がりました。つくったドリームキャッチャーを自分の部屋のベッドのそばに飾っている子もいるようです。毎晩、子どもたちが良い夢を見られるといいなと思っています。

今回の冬休み特別教室では、もうひとつうれしいことがありました。高校生になった放課後教室の卒業生がボランティアスタッフとして活動を手伝いに来てくれたのです。面倒見良く全力で遊んでくれるお兄さんに、子どもたちのハートはしっかりつかまれています。帰る支度をしているときも「まだ一緒に遊びたかった」と別れを惜しむ声が多かったです。厚真で育った先輩として、引き継いだバトンを次の世代へつないでいく大きな後ろ姿を見せてくれました。今は小学生の子どもたちもきっとこの背中を追いかけて、ふるさとへの思いを持ってたくましく育っていくことなのでしょう。そうなることを心から願っています。

